

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （1組：遠藤）（2組：遠藤）（3組：遠藤）（4組：村井）（5組：村井）（6組：渡邊）（7組：渡邊）

使用教科書：（ FLEX English CommunicationⅠ（増進堂） ）

教科 外国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】英語の知識を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】話し手などの意図を理解したり、自分の考えなどを適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】主体性・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的、社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして知識を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	日常的な話題について、情報や考え、気持ちをなどを明確な理由や根拠とともに表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	異文化や外国語に対する理解を深め、周囲に配慮しながら、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話〔や〕	話〔発〕書					
1 学 期	Lesson1 How can we become stronger? 【知識・技能】 英語の文の助動詞・to不定詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した助動詞・to不定詞を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	Lesson1 How can we become stronger? 一人一台端末を活用する。 松岡修造さんの心のコントロールに関する英文を読み、自分自身を励ます方法を見つけ他者に説明する。 助動詞・to不定詞	○	○	○	○	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出 ・スタディサブリの取り組み	○	○	○	3
	Lesson2 The jar of life 【知識・技能】 動名詞、間接疑問文を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した動名詞、間接疑問文を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しC20ながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	Lesson2 The jar of life 一人一台端末を活用する。 教授のジャーを使った講義について読み、自分の考えや気持ちをまとめ、説明する。 動名詞、間接疑問文	○	○	○	○	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出 ・スタディサブリの取り組み	○	○	○	9
	定期考査							○	○		1
	Lesson3 It's always sunny in space! 【知識・技能】 〈名詞＋分詞句〉・現在完了形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した〈名詞＋分詞句〉・現在完了形を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	Lesson3 It's always sunny in space! 一人一台端末を活用する。 JAXAのプロジェクトと環境にやさしいエネルギーに関する英文を読み、その問題点についての意見を他者に伝える。 〈名詞＋分詞句〉・現在完了形	○	○	○	○	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出 ・スタディサブリの取り組み	○	○	○	12
	Lesson4 Malala: fighting for women's right 【知識・技能】 関係代名詞・過去完了形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した関係代名詞・過去完了形を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	Lesson4 Malala: fighting for women's right 一人一台端末を活用する。 マララさんの男女平等を実現するための行動などに関する英文を読み、それに対する意見を発表する。 関係代名詞・過去完了形	○	○	○	○	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出 ・スタディサブリの取り組み	○	○	○	12
	定期考査							○	○		1

[illegible]

3 学 期	Lesson9 Biomimicry-Inspired by nature 【知識・技能】 知覚動詞、分詞構文を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した知覚動詞、分詞構文を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	Lesson9 Biomimicry-Inspired by nature 一人一台端末を活用する。 バイオミクリーについて知り、その有用性や環境負担の軽減などについて考え、他者に伝える。 他にどのような発明ができるかなどについても考えてみる。						評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出 ・スタディサブリの取り組み					12
	Lesson10 Donald Keene and his love of japan 【知識・技能】 〈前置詞＋関係代名詞〉・完了進行形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した〈前置詞＋関係代名詞〉・完了進行形を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	Lesson10 Donald Keene and his love of japan 一人一台端末を活用する。 ドナルド・キーンが文化勲章を贈られたことについての英文を読み、日本文化に対する外からの視点を考えてみる。またその考えを通して改めて日本文化について学び、発表する。 〈前置詞＋関係代名詞〉・完了進行形						評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出 ・スタディサブリの取り組み					12
	定期考査												1
													合計 10